

大館市教育委員会会議録

日 時 令和6年12月20日（金）
午後3時30分
場 所 大館市立中央公民館
多目的室

大 館 市 教 育 委 員 会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時	日 時	令和6年12月20日（金）		午後3時30分
	及び場所	場 所	大館市立中央公民館		多目的室
2 出席委員の氏名					
教育長職務代理者		山 田 和 人	委 員	工 藤 啓 子	
委 員		根 田 穂美子	委 員	小笠原 正 卓	
3 欠席委員の氏名					
4 委員以外の出席者職氏名		(なし)			
5 出席した職員の職氏名					
教 育 長		高 橋 善 之	学校教育課長補佐	柴 田 賢	
教 育 次 長		成 田 浩 司	学校教育課長補佐	工 藤 貴 胤	
教 育 監		長 岐 公 二	生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則	
教 育 総 務 課 長		北 林 香 子	中 央 公 民 館 長	外 館 志	
学 校 教 育 課 長		鈴 木 明	歴史文化課長補佐	篠 村 朋 子	
生 涯 学 習 課 長		畠 山 慶 子	教育総務課総務係長	柳 谷 真 希	
教育総務課長補佐		宮 崎 史 人			
6 会議録署名委員 教育長・工藤委員					
7 会 議 書 記 教育総務課 総務係長 柳谷 真希					
8 教育長報告					
(1)		令和6年度ふるさとキャリア教育作品コンクール審査結果について			
(2)		「NHKのど自慢」の開催について			
(3)		大館学び大学「自然と鉄道」写真展の開催について			
(4)		曲田地区での埋蔵文化財の試掘調査について			
9 議 事					
協議第28号		令和7年度 当初歳出予算要求の概要について			
10 その他					
(当日配布)					
・ 令和6年の10大ニュース 〔教育委員会〕					
次回 1月31日（金）長木公民館 第1，2研修室					

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年12月20日

担当課(学校教育課)

報 告 事 項	報 告 内 容																
(1) 令和6年度ふるさとキャリア教育作品コンクール審査結果について	1. 審査 令和6年12月11日(水)、田代総合支所大会議室において実施しました。																
	2. 審査の視点 (1) 子どもが調べたこと、体験したことを自分の言葉や動作、絵などで表現しているか。 (2) 学習・活動を振り返って、子ども自身が成長を実感しているか。																
	3. 審査結果 (1) 最優秀賞																
	<table><tr><th>部門</th><th>学校名</th><th>学年</th><th>作品の概要</th></tr><tr><td>小・低学年</td><td>上川沿小</td><td>3年(16人)</td><td>上小ジャンプアップル店開店(かべ新聞)</td></tr><tr><td>小・高学年</td><td>有浦小</td><td>6年(81人)</td><td>我ら未来大館市民!(かべ新聞)</td></tr><tr><td>中学校</td><td>成章中</td><td>全校(44人)</td><td>十二所地区の歴史(レポート等)</td></tr></table>	部門	学校名	学年	作品の概要	小・低学年	上川沿小	3年(16人)	上小ジャンプアップル店開店(かべ新聞)	小・高学年	有浦小	6年(81人)	我ら未来大館市民!(かべ新聞)	中学校	成章中	全校(44人)	十二所地区の歴史(レポート等)
	部門	学校名	学年	作品の概要													
	小・低学年	上川沿小	3年(16人)	上小ジャンプアップル店開店(かべ新聞)													
	小・高学年	有浦小	6年(81人)	我ら未来大館市民!(かべ新聞)													
	中学校	成章中	全校(44人)	十二所地区の歴史(レポート等)													
	(2) 特別賞																
	<table><tr><th>部門</th><th>学校名</th><th>学年</th><th>作品の概要</th></tr><tr><td>商工会頭賞</td><td>下川沿中</td><td>3年(14人)</td><td>私が考える大館や地区の活性化の提言</td></tr><tr><td>教育長賞</td><td>桂城小</td><td>6年(9人)</td><td>桂城城下町かるた</td></tr></table>	部門	学校名	学年	作品の概要	商工会頭賞	下川沿中	3年(14人)	私が考える大館や地区の活性化の提言	教育長賞	桂城小	6年(9人)	桂城城下町かるた				
部門	学校名	学年	作品の概要														
商工会頭賞	下川沿中	3年(14人)	私が考える大館や地区の活性化の提言														
教育長賞	桂城小	6年(9人)	桂城城下町かるた														
(3) 優秀賞(概要)																	
(4) 優良賞(概要)																	
<table><tr><th>部門</th><th>学校数</th><th>児童生徒数</th></tr><tr><td>小・低学年</td><td>3校</td><td>33人</td></tr><tr><td>小・高学年</td><td>6校</td><td>187人</td></tr><tr><td>中学校</td><td>4校</td><td>13人</td></tr></table>	部門	学校数	児童生徒数	小・低学年	3校	33人	小・高学年	6校	187人	中学校	4校	13人					
部門	学校数	児童生徒数															
小・低学年	3校	33人															
小・高学年	6校	187人															
中学校	4校	13人															
<table><tr><th>学校数</th><th>児童生徒数</th></tr><tr><td>5校</td><td>84人</td></tr><tr><td>7校</td><td>103人</td></tr><tr><td>6校</td><td>44人</td></tr></table>	学校数	児童生徒数	5校	84人	7校	103人	6校	44人									
学校数	児童生徒数																
5校	84人																
7校	103人																
6校	44人																
※参加総数 44作品 626人																	
4. 表彰式																	
(1) 期日	令和7年2月4日(火) 16時30分 中央公民館																
(2) 表彰対象	審査結果に基づき、(1)(2)の受賞作品を表彰対象とする。																

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年12月20日

担当課（生涯学習課）

報 告 事 項	報 告 内 容
(2)「NHKのど自慢」の開催について	12月7日（土）、8日（日）の2日間、ほくしか鹿鳴ホールにおいて、市とNHK秋田放送局が主催する「NHKのど自慢」を開催しました。 のど自慢の開催は、平成29年以来7年ぶりで、7日の予選会には200組が出場し、当日は予選を勝ち抜いた20組の出演者が、たくさんの観客の前で自慢の歌声を披露しました。 番組の冒頭では、秋田犬をはじめ、「観光交流施設秋田犬の里」や「(有)栗久の大館曲げわっぱ」が紹介され、ふるさと「おおだて」の魅力を全国にPRすることができました。 今後も、市内外から多くの方に来ていただけるイベントを提供できるよう努めてまいります。 ○出場申込者数621件 当選者数200件 （当選倍率3.1倍） ○観覧申込者数2,616件 当選者数（組）540件 （当選倍率4.8倍）
(左から) 司会の廣瀬智美アナウンサー、ゲストの山川豊さん 坂本冬美さん、鐘奏者の前田秀明さん	  自慢の歌声を披露しました

教育長が教育委員会会議に報告する事項

担当課(中央公民館)

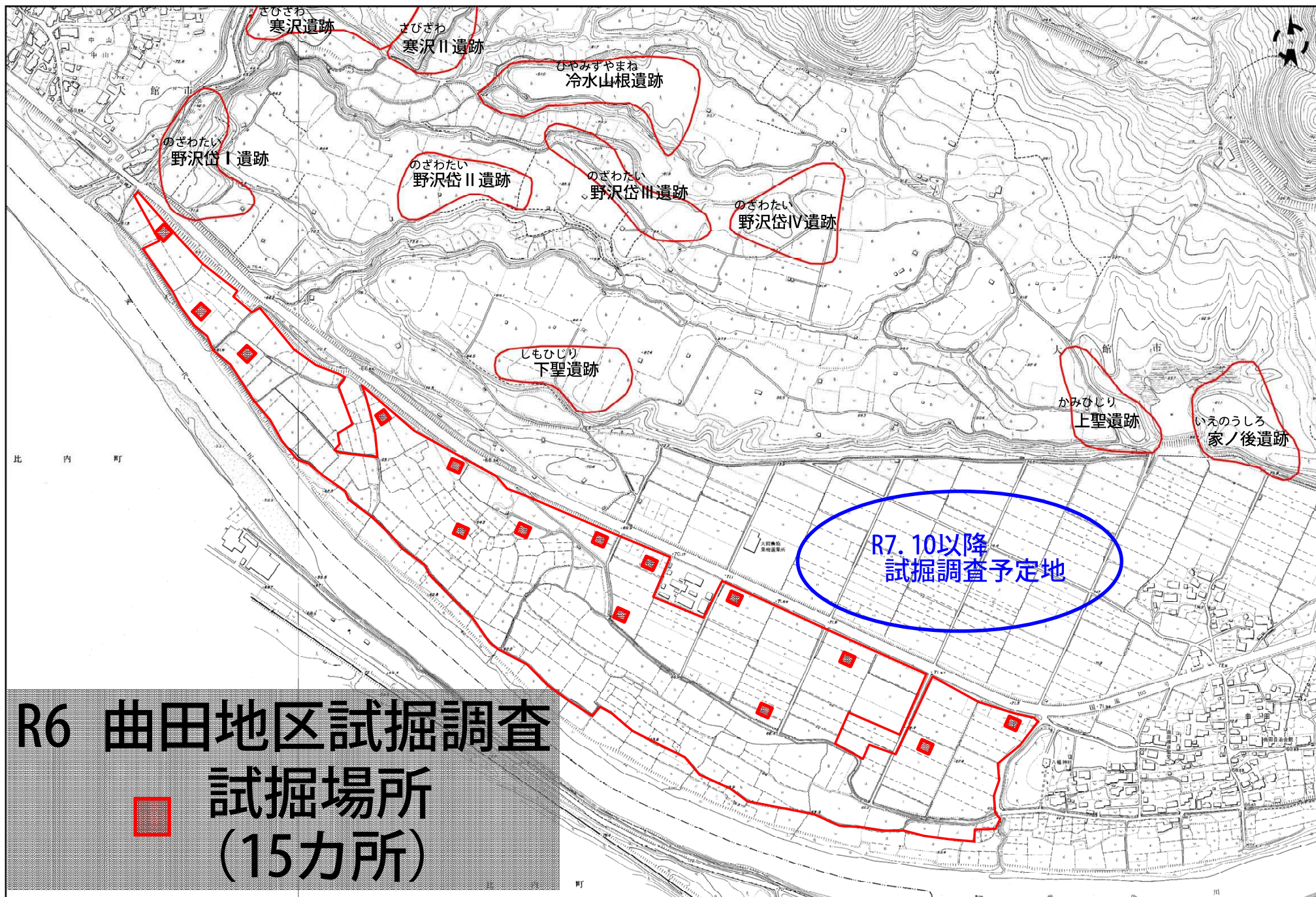
報 告 事 項	報 告 内 容
(3)大館学び大学「自然と鉄道」写真展の開催について	1 1月22日(金)から24日(日)までの3日間、中央公民館の展示室において、大館学び大学「自然と鉄道」写真展を開催しました。 この写真展は、比内町大葛在住で滝の写真を専門とするアマチュア写真家 佐藤俊正氏が、大館学び大学で講師を務めたことがきっかけとなり実現したもので、初開催にも関わらず、会場には写真家仲間など約100名が来場し、賑わっていました。 写真展には、佐藤氏をはじめ、中央公民館に係る市職員やOBなど4名のアマチュアカメラマンが総勢46点を出展。壮大な自然のパノラマ写真や、普段目にすることのない鉄道の写真などが展示され、来場者はひとつひとつの写真をじっくり鑑賞し、「見ごたえがある」といった感嘆の声が聞かれました。 24日には、生涯学習事業で訪れた比内支援学校の卒業生の鑑賞もあり、写真を楽しむ貴重な機会となりました。 《自然と鉄道写真展》 1. 出展者 佐藤俊正、菅原修、佐々木孝幸、與語靖啓 2. 作品数 46点 

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年12月20日

担当課（歴史文化課）

報 告 事 項	報 告 内 容
（４）曲田地区での埋蔵文化財の試掘調査について	令和6年11月、曲田地区において埋蔵文化財の試掘調査を行いました。 この調査は、秋田県の農地中間管理機構関連圃場整備事業（R5～R10、49.6㍏）に伴い、来年度の圃場整備区域が、曲田の野沢岱^{のざわたい}I遺跡や下聖^{しもひじり}遺跡に隣接していることから実施したもので、整備区域の面積が28.2㍏と広範囲に及ぶため、2㍏四方の試掘場所を15カ所設定し、2週間かけて行いました。 調査の結果、残念ながら遺構は確認できず、遺物の出土もありませんでしたが、今後は令和8年度に整備が予定されている区域で、令和7年10月以降に調査を行う予定です。 市民の貴重な文化遺産である埋蔵文化財を保存し、後世に引き継ぐため、今後も各地の調査に取り組んでまいります。 1. 期 間 11月14日（木）～11月27日（水） 2. 場 所 大館市曲田（別紙地図参照）  試掘状況  試掘状況  試掘状況  試掘状況



議 事 の 経 過	
	開会 午後3時30分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と工藤委員にお願いします。 会議録についていかがだったでしょうか。 (「異議なし」の声あり) それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項をお願いします。
各課長	(「(1)令和6年度ふるさとキャリア教育作品コンクール審査結果について」、 「(2)「NHKのど自慢」の開催について」、 「(3)大館学び大学「自然と鉄道」写真展の開催について」、 「(4)曲田地区での埋蔵文化財の試掘調査について」 を資料により報告)
教育長	ご意見、ご質問はございませんか。
委員	のど自慢大会についてです。 東京、関西にいる知人から連絡いただきまして、やはり大館のことに関心を持っていらっしゃる方々が結構いらっしゃるのだなと思いましたが、会場の雰囲気というのはどのようなものだったのでしょうか。
生涯学習課長	前日に200組の予選会が行われました。 前日は観覧自由で、大勢の方が朝早くから並んでいらしたので早めに入場させました。本番の20組に入ろうとして皆さんすごく頑張って一生懸命歌っていて、それをNHKの方々がすごく盛り上げてくださいました。 結果発表するまで1時間ほど時間があつたので、そのときに大館市のはちくんダンスをステージで披露しまして、会場に来ていた皆さんに少し和んだ状態で観覧していただきました。 当日は、家族の方が応援席に行って、アナウンサー、ゲスト2人も放送が終わった後に特別タイムということでそれぞれ1曲ずつ歌を披露していただきました。ゲストがそれぞれ歌うのが通常なのですが、今回は、出場してくれた方と一緒に歌っていただきました。 それがすごく珍しいことだとNHKの担当者が言っていて、選ばれた2人は大変な記念になったのではないのかなと思いました。

教育長	私も観させていただいたのですが、生放送ですので放送時間枠ちょうどに終わるというそのタイムスケジュールがすごいなと思いました。 それから、1, 000人の方がいらして、思い入れというか、楽しそうで本当にあっという間の時間だったなと思います。 そのほかに、生涯学習課長からお話しのあったようにテレビに映らないところで出場者と2人で歌ってくれたりして、楽しい時間だったなと思います。 大館市で開催するために、生涯学習課を中心としてもう何ヵ月も前から相当の時間を使って準備してきたということが背景にありまして、やってよかったと思っています。他にございませんか。
委員	「自然と鉄道」写真展、11月22日から24日までの間で伺えなかったことを非常に残念に思っております。ぜひ一度拝見したいなと思っていたので、もしどこかでまたこういう機会があればご案内いただければなと思います。何かそのような情報はございませんでしょうか。
中央公民館長	今度、比内公民館でやりたいと思っていますので、必ず連絡いたします。
委員	ぜひよろしく願いいたします。
委員	ふるさとキャリア教育の作品コンクールについてです。 審査に参加させていただきまして、本当にありがとうございました。 4回目ということで、全体的に表現力のレベルは上がってきているのかなというのは感じたところです。 表現作品ということなので、国語であったり図工であったり、いろいろな教科、学びの成果も関連しているのかなと思っています。 それから、内容についてです。(2)の視点のところにも書いておりますが、子どもたちが自分自身の成長を感じているという内容も非常に多かったなと思ってしまして、(4)のふるさとキャリア教育の取り組みが、ただ体験させるということだけではなくて、本当に何を学んで欲しいのかという狙いをきちんと子どもたちに理解させているという証でないかなと思っています。 いろいろ取り組んでいる中身について、舞台をなかなか見ることができない、そういう機会が少ないので、子どもたちの学びの成果を知ることができて大変よかったなと思っています。ありがとうございます。
委員	関連して、総合的学習というのはこういうふうな学習のことをいうのだろうなとつくづく思っています。 今、委員がお話くださったように、体験することは、体験することでそれを表現して初めて1つのまとまりを得る。そこに子どもたちのいろいろな試行錯誤なり知の統合が見えてくるような気が毎年していま

教育監	す。そのスキリングが高くなってきているなとすごく感じています。 ぜひ続けていただけるといいなということと合わせて、前にもお話ししたこともあると思うのですが、このような作品が市民権を得るために、パブリシティといいますか表現、公開されるような周知の方向みたいなことをもう少し考えていく必要が教育委員会としてもあるのかなと思っていますので、ぜひご一考いただければいいなと思っています。 4回目ということもあって経験を積んできましたので、今回は応募作品をすべてデジタル化しています。今こういう時代ですので、いろいろな部分で、例えばスペースを取って展示することも1つなのですが、いわゆる市民の方々が意図を持って入っていくことによってそれを抜き出すことができるのか、そういう手法をとれないか模索しているところです。
委員	ありがとうございます。ぜひよろしくお願いします。
教育長	これは、職場体験として自分の母校の桂城小学校に行った中学生の新聞ですけども、2日間の体験だったのですが、研修後記、一番下のところにキャリア発達、成長というものをすごく感じる文章が載ってまして、読んでみますと、『私は職場体験で桂城小学校へ行った。久しぶりの校舎の廊下が少し小さく感じて、自分の成長を感じた。学校に響くあいさつ、朝の歌に懐かしさと温かさを感じた。職員室に自分の机があるという不思議な感覚におそわれた。「リン先生」と言われるのは、なんだかむずがゆいような気持ちだった。 同時に、再び桂城小の一員になれたような気がしてうれしかった。1日目の校長先生、教頭先生との振り返りでは、緊張して声が震えた。職員室での最後のあいさつでは、卒業式では泣かなかったのに号泣してしまった。この温かな学校がいつまでも続くことを願っている』、こういう文章です。 卒業して2年なのに、このようなことを感じる力、自分を分析して、そして人に感謝するという、本当にいい体験だということを、それを先ほど「表現力」と言いましたが、本当に素晴らしい文章でまとめているということを私も感じました。
委員	審査に参加させていただいてありがとうございます。 私も委員がおっしゃったように、子どもたちのアウトプット力、表現のスキルというのがどんどん上がってきているのを感じています。そして、教育長がご紹介くださったように、中学校の壁新聞が結構「職場体験」に充てられていて、各校いろいろな表現をされている生徒さんがいるその奥に、各中学校での職場体験や行く場所のバラエティーさも各校の努力が見てとれて、私自身が知る非常にありがたい機会をいただきました。

	それでこう見ると、先ほど教育長からご紹介いただいた、母校に行っ て先生を体験する職場体験というのは初めてのよう思いまして、こ ういう機会がもっと増えるといいなということの気付きももらいました。 ぜひ市民ももちろんですが、こういう取り組みがあるのだということ を市内の中学校に周知してくださるとありがたいなと感じています。
教育長	中学校でこのような形で教職体験をして、高校2年生になって、教師 ミニミニ体験というふうな形でつながっていけば、将来的な教員確保と いうか、そういうのを育てていけるかなと思っております。 他にはございませんか。なければ、報告はこれにて終わらせていた きまして、議事に入ります。説明をお願いします。
各課長	(「協議第28号 令和7年度当初歳出予算要求の概要について」を資料 により説明)
教育長	ご意見、ご質問等はございませんか。
委員	小学校工事費と社会教育施設工事費の委託料に「高圧コンデンサのP C B分析業務」とありますが、私の記憶では初めて拝見するものかなと 思うのですが、今ちょっと調べたら、P C Bというのは有毒なもので、 それを取り除かなければならないというのは今始まったことなのか、ず っと続いていくことなのか、今までもあったことなのかを教えていた きたいです。
教育総務課長	今始まったことではなくて、低濃度のP C Bにつきましても、その含 まれているものは検査をして令和9年3月までに廃棄するということが 法律で決まっておりますので、可能性のあるものについて、分析をして 撤去するための業務となります。
委員	よくわかりました。 続きまして、「G I G Aスクールタブレットリース料ほか、保守管理委 託料等」についてですが、この次に使う生徒用、教師用のタブレットに ついての機種選定のプロセスをお伺いしたいです。 というのは、前回、初めてG I G Aスクールタブレットを使うとい うところの運用当初から、例えば中学校だと保存容量ですね、S S Dの容 量がちょっと足りないのではないかと、いろいろな意見が出てきたよ うにも思います。 そういう中での現場の声をくみ上げての機種選定をお願いしたいと思 うのですが、そこを踏まえての選定についてプロセスをお伺いしたいの と、「給食管理事業」についての328, 118, 000円の中に、以前 話題にしたと思うのですが、このところの食材とかお米とかの費用の高 騰によって、その給食費の値上げがされなければならないと、その間に

学校教育課長	その補助がどうなのかなという懸念があるのですが、そこに関してこの当初予算ではどのように扱うのかなというのを伺いたいです。 まず1点目の第2期GIGA端末の選定のプロセスといたしまして、通常、Windows（ウィンドウズ）のパソコン端末なのかChromebook（クロームブック）なのか、iPadはちょっと高額ですので、市では、今まで使っているWindowsとChromebook両者を比較しました。 それで、スペック、バッテリーの持続時間や容量など、メリット・デメリットについて比較し庁内で検討した結果、今まで使っている端末と同様のWindowsでいきたいという方針で決定しております。
委員	スペックも含めて今までと一緒なわけではないですね。
学校教育課長	そのとおりでして、現在は1台当たり55,000円が国からの補助となっているのですが、国では最低スペック基準を満たすものを補助の要件としておりますので、現在使用しているタブレットより、特にバッテリーの維持時間やディスク容量が優れております。 先生方の分につきましても、前は補助対象外ということで整備できなかったのですが、今回は補助の対象にはならないのですが、補助要件といたしまして先生方の分も購入しなければならないため、確実に整備したいと考えています。 この給食管理費の中には、今年度当初で児童生徒1食当たり30円の補助や12月補正でさらに上乗せした30円の補助は入っております。来年度の補助については、国の交付金が活用できるかどうかを財政課と協議しており、現在、当初の30円補助、米の価格が上がったことにより上乗せ30円の補助ですので、1食当たり最低60円必要となっております。 来年度も60円を適用できるのかを検討しておりまして、その額につきましても2月上旬に予定しております「学校給食運営委員会」の中で決められるものと考えております。
委員	もう1つお聞きします。 1億円の佐々木さんの教育振興基金についてですが、現状どのようになっている、使途としてどういうふうにお考えなのか伺いたいと思います。
学校教育課長	佐々木教育振興基金につきまして、現在の残高から申し上げますと、令和6年3月31日現在の残高で、93,976,000円余りとなっております。 実際の使い道といたしまして、今年度の小学校創立150周年記念事業に使わせていただきました。例年、子どもサミットとか、ステップア

委員	ップ夢事業などにも使わせていただいております。 今後もそれを使っていくというのは、そういう方針と考えて、現在ですけど何か特別な支出っていうのは考えていないということでしょうか。
学校教育課長	使い道は、佐々木様の趣旨に沿った形で使うように要綱が定められておりますので、そういった方向で使うことになります。
委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。よろしいでしょうか。それでは承認として進めます。
教育総務課長	(「来月の開催日程」について)
教育長	委員の皆さまから何かございませんか。 それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。
	会議終了時刻 午後4時45分